

桑名地名あれこれ(19)

社会文化部門
(個人会員)

大河内 浩

伊曾島の七里渡遺跡

桑名というと東海道七里渡ですが、航路は一つではありませんでした。季節や潮位天候にもよりますが宮から桑名港までは幾つもの航路があったようです。現在並行して流れる掛斐良良川と木曾川は当時最下流で網の目のようになり横溝蔵輪中は木曾岬干拓のあたりまで大きく張り出していました。

航路は、この横溝蔵輪中松蔭の沖を回る外回り(沖回り)、伊曾島(長島町南半分)を二分する青鷺川や木曾岬南部白鷺川を通る中回り、長島(長島町中北部)と伊曾島の境の鰻江川を通る佐屋内回り、更に上流で佐屋川から七郷輪中(多度町多度北地区)前を通り桑名川へ入る佐屋回りがありました。



七里渡青鷺川旧跡の石碑と案内板(木曾川右岸)

明治20年代の木曾三川分流工事で青鷺川や白鷺川は堰き止められて養魚池に利用されていましたが昭和11年に埋築、田となりここに七里渡青鷺川旧跡(間遠渡)の石碑が立てられました。標準的な渡海路で、桑名港七里渡口から尾張国境までのちょうど中間点です。



青鷺川旧跡の南に立つ伊曾島神社。伊曾島村は昭和30年に桑名市へ合併の話が出ましたが結局翌31年に長島町と合併になりました。

その南側にある伊曾島神社は、明治末期に、一村一神社の制度の中でも伊曾島地区全輪中の村々の神社が合祀されたため、現在でも長島町南半分の地域を全て包括する神社となっています。

ご賛助いただいております 特別会員の皆様

(五十音順)

医療法人桑名病院様
医療法人尚徳会 ヨナハ総合病院様
医療法人普照会 もりえい病院様
医療法人誠会 山崎病院様
お菓子処「和」様
カネソウ株式会社様
株式会社朝日精工様
株式会社歌行燈様
株式会社グランビル様
株式会社山水園様
株式会社水谷精機工作所様
株式会社レイ・ステージ桑名様
木村洋子様
桑名シティホテル様
桑名信用金庫様
在日本大韓民国三重県桑名支部様
中央不動産株式会社様
辻内鋳物鉄工株式会社様
兎月堂様
花新江場中店様
花乃舎様
光精工株式会社様
ヒルカワ金属株式会社様
三重精機株式会社様
森田フードシステム株式会社様
有限会社茶茂様

日頃のご協力に對いまして
深くお礼申し上げます。

編集後記

桑名市文化協会の広報委員になって今年で2年目になります。9月と3月の桑名文協広報誌発行に向けて会議は晩に開催されます。私を感じるのはお子様連れで参加する方もいて、出席率がとても良いことです。また、会のミーティングが自由な雰囲気で各委員の和やかなムードは、会議の進行をスムーズにしております。これは、副会長・事務局のリーダーシップによるものと思われま。

私はこの様なメンバーの一員に加われた事に感謝致します。

(藤井 弘)

広報担当副会長	丹羽 宗俊
広報担当副会長	安田 治三
委員 文学部門	佐竹貴代子
美術部門	佐久間 悟
音楽部門	藤井 弘
芸能I部門	村瀬 昌子
芸能II部門	家田 厚岳
芸能III部門	伊藤 好子
演劇部門	相原 千景
茶華香道部門	水谷 信子
社会文化部門	大河内 浩
趣味教養部門	加藤 誠

桑名文化協

平成30年9月15日
第 44 号
桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
http://bunkyo-kuwana.jp

ご挨拶

桑名市文化協会

会長 荒木敏文



今年の夏は、日本列島全体が最高気温となり、マスクミ等で「命にかかわる危険な暑さ」の言葉と、「熱中症に注意」の喚起がなされました。また、西日本では記録的な広域集中豪雨があり、怖い・厳しい夏となりました。会員の皆様には、ご自愛をお願いするものであります。

さて、5月13日に桑名市中央公民館において平成30年度第26回定期総会を開催し、29年度事業経過報告及び収支決算、平成30年度事業計画、収支予算等を提案し、ご審議の結果ご承認を賜りました。

当日は、桑名市長伊藤徳宇様(一社) いなべ市芸術文化協会会長弓矢孝己様、(二社) 四日市文化協会副理事長 芝田尚輝様からご挨拶を賜り、お忙しい中のご臨席、衷心よりお礼申し上げます。

さて、今年から文化協会として、



桑名市文化協会

副会長 安田治三

葉月ひとこと

平素は文化協会の活動にご理解、ご協力を頂きまして有難うござ

います。

先日は、市民展で沢山の作品を拝見し、それぞれが魂込めて創作されていることに感心致しました。何事もそうだと思いますが、創作するには相当の努力や苦労があるものと思います。

本の受け売りですが、あのエジソンは蓄音機を発明する際、ほとんど聴覚を失っており、蓄音機の箱を噛んで震動から音を聴き取ったとありました。この強い執念に心が震えました。

人はついつい結果だけを見てしまいがちですが、そのプロセスに想像力を働かせると一段と作品に味わいを感じられるのでは、と思います。数多くの作品や人々に出会えるだけでも、豊かな気分になりますし、その豊かな気分が更に、新しい世界の見方に繋がっていくのではと考えています。

私も年齢とともに、心も体も硬化してゆくのが判りますが、できれば、いつかの歌謡曲の歌詞にありました「しなやか」な心に成れたらと最近思うようになりました。取るに足らない些細な事でも新鮮に受け止め、理解をし、心と体で感じ取っていかれたらと思います。今後、皆さんと楽しく活動させていただきます。

益々のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

桑名市民展を振り返って

美術部門理事

深貝 武夫

今年より桑名市民展に桑名市文化協会美術部門が初参加することになり、三日間で2100名ほどの方々に鑑賞して頂きました。それにしても、プロ、アマが一堂に会しての展示であり審査員、運営委員の方々のご苦労は大変なものであったらこうと思います。

受付して来館者の方々と直接、お話しさせて頂く機会を得たことは、芸術観を変えるチャンスではなかったかと思っています。

65回続く市民展ですが、一般公募の作品より、招待作家・無鑑査の作品が多すぎて変わりばえせざるの意見があり、誰もが出品しやすい市民展をめざして頂きたいと感じました。

来年度は新元号、一から出直しの良い機会、来館者に耳を傾ければ、多様な性ある新しい市民展が生まれるような気がしました。



本年度社会文化部門展として「明治150年記念・桑名の100神社と文化財」を開催いたします。神社というと、宗教とか何か異質な世界というイメージを持たれる方や、国家神道から軍国敗戦へと収斂させて負の歴史につなげてしまう声があるかも知れません。

ですが、日本の神社神道は、四季の変化や豊かな自然に富む反面、風水害との闘いであった長い歴史の中で、太陽の恵みや穀物の稔りに感謝するという心に始まった日本固有の伝統文化です。特定の教祖教団や教義教典もありません。

みなさん神社の杜で昆虫採集や植物観察など、子どものころから親しんで来られたと思いますが、人びとが集うことで心が結集し、祭礼や文化が育まれて来しました。また桑名市内にも、千年以上という古い歴史の神社が幾つかあります。近代日本文明進展の淵源となった明治維新の精神的な意義を、いち早く闡明にしたのも神社界です。この神社と関係する祭礼行事や建造物など、一般に観覧可能なものを中心として紹介する企画展です。入場無料・自由観覧

「神社と文化財」へどうぞ
社会文化部門
大河内 浩

桑名市民芸術文化祭へのお誘い



鎮国守国神社の楽翁公百年祭記念宝物館は数々の文化財が所蔵され建物自体も登録有形文化財です。

ですので、ぜひ一度お運び下さい。昭和43年の明治100年では「明治維新、偲ぶ心が国興す」の標語で啓発されていますが、この小展で少しでもこの理念を感じ取っていただければ幸いです。

漢詩、現代文の 視界を広げましょう

芸能Ⅱ部門
桑名市吟剣詩舞道連盟
伊藤 晶

近年漢文が昔ほど重んぜられなくなり、漢字の力も衰えたというが、漢詩に対する興味と関心は依然根強いものがある。漢詩の解説書は多くの読者を持ち、鑑賞の講座には聴衆が大勢集まる。

日常でも、会話の端々に「春眠曉を覚えず」とか「国破れて山河在り」とか、今なお口をついて出てくる。思えば、日本人は古くから漢詩に親しんできた。漢詩を中国から習い覚

第27回 桑名市民芸術文化祭 ～プログラム～

右記の日程で市民芸術文化祭を開催します。芸術の秋にさまざまな文化・芸術にふれてみませんか。皆様のご来場をお待ちしています。

第27回
桑名市民
芸術文化祭
～文化力で桑名の魅力広げよう～

2018
10/20(土)・11/25(日)
2019
3/16(土)・17(日)

会場／NTNシティホール(桑名市民会館)・くわなメディアライヴ
六華苑・大山田コミュニティプラザ・桑名市中央公民館
主催 桑名市・桑名市文化協会

【会場】六華苑 【日時】2019年1月19日土・20日日
【開催】(一財)桑名市文化・スポーツ振興公社

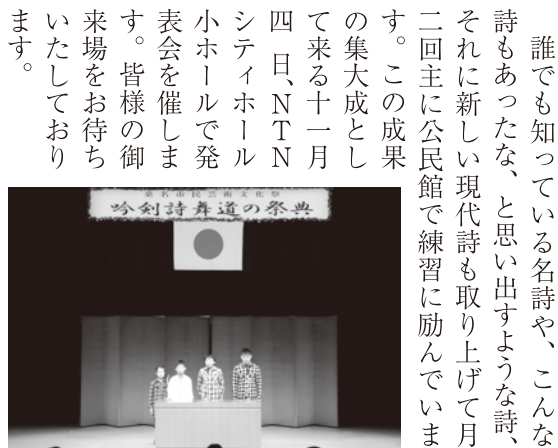
桑名市文化協会

※入場は無料ですが、六華苑のみ入苑料(460円)が必要です。
※文化祭の内容は、変更になる場合があります。
※各会場とも駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
問い合わせ:文化協会事務局(桑名市役所観光文化課内)(TEL 24-1361 FAX 24-1140)まで。

●協賛事業

「幻想桑名」I LOVE KUWANA 近藤ナオ・CGデザインアートの世界	
10月10日(水)～10月21日(日) 9:00～16:00 場所／六華苑 番蔵棟	原版を作成せずに出力したデジタル版画 桑名の文化・遺産・特産物・観光を モチーフに表現
遠州流茶道三重支部 呼春茶会	
2019年2月3日(日) 10:00～16:00 場所／桑名丁子屋(寿町・アビタ北)	濃茶席、点心席、点心後に陰点で薄茶 お問い合わせは 24-3014 谷古宗正まで

趣味教養祭(桑名愛石会第45回水石展)	
10/20(土) 9:00～17:00 10/21(日) 9:00～15:00	場所／くわなメディアライヴ 多目的ホール
くわコレ'18	
10/20(土) 14:00～16:00 ファッションショー 10/21(日) 9:00～16:00 作品展示と体験	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 20日 小ホール 21日 展示室
芸能の祭典(日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など)	
10/27(土) 13:00～16:00 10/28(日) 10:00～16:00	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 大ホール
お茶会	
11/3(土・祝) 10:00～15:30	
※前売券(2席1,500円・入苑料込)は文化協会事務局(市役所2階観光文化課内)で販売。当日券は1席600円(入苑料別)	
場所／六華苑 一の間・離れ屋	
華道展	
11/3(土・祝)・11/4(日) 10:00～16:00	場所／六華苑 番蔵棟・会議室
吟剣詩舞道の祭典	
11/4(日) 9:30～16:00	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 小ホール
趣味教養祭(きもの帯結び、パッチワークなど)	
11/17(土) 9:00～17:00 11/18(日) 9:00～15:00 ※材料費必要。	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 展示室
音楽のフルコース	
11/18(日) 13:00～16:00	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 小ホール
美術部門展 2018	
11/23(金・祝) 12:00～17:00 11/24(土)・25(日) 9:00～17:00	場所／くわなメディアライヴ 多目的ホール
明治150年記念展「桑名の100神社と郷土の文化財」	
11/24(土) 10:00～16:30 11/25(日) 9:00～16:00	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 展示室
ダンス、DE、パフォーマンス“2018”	
11/25(日) 14:30～17:00	場所／NTNシティホール(桑名市民会館) 大ホール
小倉百人一首 初心者かるた取り大会	
11/25(日) 9:30～12:30 ※参加費(500円)が必要。申し込み必要。	場所／桑名市中央公民館 日本間
演劇の祭典 劇団すがお公演 戊辰戦争150年記念 「桑名開城・抗戦派の戦い」(仮)	
2019年3/16(土) 18:00～20:00 3/17(日) 14:00～16:00	※入場券・前売券/一般2,000円 シニア/1,500円 中高生/1,000円(当日券は300円高)
場所／大山田コミュニティプラザ 文化ホール	
「桑名文協」に文芸作品掲載	
2019年3月発行	
各まちづくり拠点施設にて配布	



桑名演劇塾・劇団すがお公演
戊辰戦争150年記念
「桑名開城・抗戦派の戦い」(仮)

桑名城が無血開城し、帰る場所がなくなった藩主・松平定敬は、鳥羽伏見の戦いで敗北した後、江戸―柏崎―会津―函館にて徹底抗戦します。定敬と共に柏崎で雷神隊を率いるのは、後に日露戦争後に陸軍大將

加藤 武夫

桑名城が無血開城し、帰る場所がなくなった藩主・松平定敬は、鳥羽伏見の戦いで敗北した後、江戸―柏崎―会津―函館にて徹底抗戦します。定敬と共に柏崎で雷神隊を率いるのは、後に日露戦争後に陸軍大將

にもなった立見鑑三郎尚文。函館に渡り実質的な新選組の最後の隊長となり、逆賊・桑名藩の罪をたった一人で担った森陳明。何とか藩主の抗戦姿勢を改めさせようと、函館まで藩主を追いかける酒井孫八郎(無血開城の最終決定した家老)等々、あくまで戦い続ける定敬を中心に幕末の最後の時代を駆け抜けた桑名藩主の物語です。

幕開きは、戊辰戦争敗戦から8年たった明治10年、西南戦争に出征を考えている31歳の定敬のもとに、立見鑑三郎が桑名に戻ったシーンから始まります。立見は旧藩主、約400名が共に薩摩へ出征することを告げます。戊辰戦争150年の記念にこの作品を上演し、桑名の歴史を検証します。



「孤愁の岸」より

平成 30 年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

申請者	事業名	開催期日	開催場所
トーイン・ポップス・オーケストラ	第23回 トーインポップスコンサート	H30.10.7	桑名市大山田コミュニティプラザ
大河内 浩	明治戊辰150年記念・桑名の100神社と郷土の文化財展	H30.5.2～H30.5.3	鎮国守国神社境内(九華公園内)
ぐるーぶ束	ぐるーぶ束 邦楽演奏会	H30.12.16	NTNシティホール(桑名市民会館)小ホール
アトリエ創	桑洋会・アトリエ創合同絵画展	H30.4.29～H30.5.4	六華苑 番蔵棟
近藤ナオ(CGプロジェクト・夢)	「幻想桑名」I LOVE KUWANA 近藤ナオ・CGデザインアートの世界	H30.10.10～H30.10.21	六華苑 番蔵棟
桑名演劇協会	黄昏コンサートと桑名空襲朗読劇「桑名が燃えている」	H30.7.21	六華苑 野外庭園
池坊桑名支部	いけばな池坊展	H31.3.16～H31.3.17	NTNシティホール(桑名市民会館)展示室

この中から 2 部門の方々に、活動紹介をしていただきます。

第23回定期コンサートに向けて

音楽部門 トーイン・ポップス・オーケストラ
二之夕 勉

来る十月七日(日)午後一時から桑名市大山田コミュニティプラザで定期コンサートを開催いたします。トーイン・ポップス・オーケストラは、平成元年初代バンドリーダー廣田さんが熱い思いで結成されたビッグ・バンドです。廣田リーダーの下で東海・北陸各地へ、ダンスパーティ、学校、各式典、結婚式などで演奏し活躍していましたが、十二年前に若くして亡くなりました。

廣田リーダー亡き後を佐藤バンドリーダーがメンバー一同を強力に引っ張っています。今年で結成三十年を迎えることで今回のコンサートにメンバー一同並々ならぬ思いで練習に励んでおります。当バンドも年々平均年齢が高くなり、練習時の休憩時間には体調に関する話題が多く、検査入院した、先日手術をした、検査の数値が高い、ここが痛い等々。冗談で「このバンドはトーイン・ポップスじゃなくて老人ぼっぶすバンドやな」と話をしています。しかし、演奏意欲は若い人たちには決して負けていません。

今年のコンサートは毎年司会を

お願いしている中島さん(毎回、話が面白く中島さんの司会が聞きたいと来ていただくお客様も多いとか)のデキシーランドジャズバンドが初めてゲスト出演してくれます。素晴らしいバンドです。聴いていただければ必ず満足していただけます。そして、昨年は都合で出演出来なかったですが、ヴォーカルの木原あいさんが出演してくれます。美しい歌声をぜひ聴いてください。

ジャズ、ラテン、ポップス、映画音楽等の数多いレパートリーの中から、皆様が良くご存じの曲を選んで演奏します。メンバー一同演奏することを心から楽しんでます。この演奏する楽しさを皆様に届けたいと思います。

ぜひ、当日は聴きにきてください。どうぞ、皆様もお楽しみください。



第23回トーインポップスコンサート 2016/7/25 桑名市大山田コミュニティプラザ

いけばな池坊

茶華香道部門 池坊桑名支部

堀場 壽子

室町時代、聖徳太子ゆかりの地

この技紹介

合唱歌う喜び

音楽部門 シャンテ・クレール
「桑名第九記念合唱団」

内藤 次郎

私どもの合唱団では、大きく口を開けて発声すること、これが基本である。勿論曲の指示によって時々刻々変化する。

合唱ということについて考えてみると各パートのバランスが重要となる。それには構成するメンバーの資質が問われる事となる。同じパートであれば必ず同じキーで発声する。最も重要な一点である。

歌うことは楽しい。皆の気持ちが高昇華してハーモニーとなって空間を満たすとき各人の胸は歌う喜びとなつてみたされる。歌う喜び、歌える喜び、これあつての合唱活動であり練習なのである。私たちは練習の喜び、発表会の緊張と無事終わったあとの解放感にひたる。そして次の発表会めざして練習は又はじまる。終わりのないこの日々と絶え間ない向上心に動かされて声の出る限り、私たちの歩みは続く。

私達は共に歌える仲間を求める。仲間が増える事が私達に勢いをつけてくれる。これは重要なことだ。

私達の歌声を世に知ってもらうため演奏会活動は最重要課題である。続けてほしい。この活動を。



CGアートは

高難度のアナ&デジ芸術

美術部門 個人会員

近藤 ナオ

コンピュータ・グラフィックスはアナログ素材やデジタル素材を利用しコンピュータ描画ソフト(イラストレーターやフォトショップ等)を使用してデザイン化、描画化した作品です。従来の日本画・洋画・水彩画などとは全く異なる技法でコンピュータを駆使した最も新しい表現手法のことです。

私がデザイン学生の頃はコンピュータと言えば超大型の電子計算機で、今で言うパーソナルコンピュータは無く、ポスターやカタログのデザイン(描画・レタリング)はポスターカラーやパステルなどを使い、全て手作業で作り上げていました。「デッサン力が必要」と

言う事で授業ではよく石膏や女性のヌード(裸体)を対象にコンテや鉛筆で自分なりに納得するまでデッサンをした覚えがあります。

勤めた制作プロダクションではクライアントからの仕事も全て手描きでのカンパ制作で、今思えば大変貴重な経験をしてきたものだと思います。

コンピュータの時代に入り、便利な世の中になりましたが、よく「コンピュータを使うから作業が簡単にできるようになりましたね」と言われる方がおられますが、それは大きな間違いです。例えば、イラストレーターやフォトショップというソフトを自在に使いこなす為には数十年もかかりますし、その前にデッサン力(アナログ技法)の無い人がコンピュータを使い描画しても、けつして良い作品は生まれません。コンピュータから入らずにまずデッサン力を身につけ、様々な手描き手法をマスターすることです。それからコンピュータを使いコッコツと始めることが大切です。

私はライフスタイルとして日頃ギターを弾いています。コンピュータを使い作曲や編曲も致しますが必ず生ギター(アナログ演奏)で音を出しながら作業をしています。絵画も音楽も全く同じで「心・思いの表現」なのですから…。

「幻想桑名」近藤ナオ・CGデザ

である京都六角堂において確立された「池坊いけばな」は、日本の伝統文化のひとつとして脈々と今日まで継承されてきました。

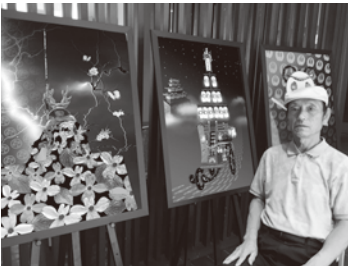
歴史文献には、六角堂の僧侶が、宮中・公家・武家に招かれて花を挿し、京都の人々の間で評判になったとあります。時代とともに、「いけばな」は広く庶民のたしなみとなり、花を生けることがより身近になりました。

近年の生活様式・生活環境の変化は、「いけばな」の形にも変化を及ぼしていますが、花木の美しさ・生命の輝きは、いつの時代も変わることはなく、池坊は、その時代に合った形の「いけばな」を発表してきました。

今年も、家元をはじめ全国各地で池坊華道展が開催されます。桑名支部では、来年三月、文化協会後援・育成補助金助成事業として花展を開催いたします。今を生きる人々の時間と空間にマッチした「池坊いけばな」を、ぜひご覧いただきたく、ご来場をお待ちしております。



インアート展、10月10日(水)～21日(日)(六華苑)桑名の文化・遺産・特産物・観光をモチーフにした「デジタル版画」作品です。



第27回桑名市民芸術文化祭

ポスター入賞者表彰式

今年度の文化祭ポスター原画市長賞には、いなべ市在住で桑名市内の美術教室へ通う松岡実咲さんが選ばれました。今年の夏の花火大会は、台風のため中止となり残念でしたが、松岡さんの原画は、石取祭とともに打ちあがる花火が楽しく描かれた素敵な作品です。

佳作には、市内在住の黒宮素晴さんが選ばれました。

7月31日(火)に関係者による表彰式を行いました。

